

日南町中心地域整備検討委員会（第１回）会議録

日 時 令和６年４月２０日（土）

午後３時２５分から午後４時５５分

場 所 日南町役場 交流ホール

出席者 別紙のとおり

次第１ 開会

○事務局

第１回日南町中心地域整備検討委員会、開会宣言。

次第２ 開会挨拶

○中村町長

第１回中心地域整備検討委員会へのご出席、また委員としてご快諾感謝申し上げます。検討委員会には、本町と深い関わりのある鳥取大学の日置教授、また、明治大学の片野准教授を初め、デジタル技術を使ったまちづくりに取り組んでいただいているシティラボ東京マチトワの西代表、町内からは各分野でご中核的な役割としてご活躍いただいている皆様方にお集まりいただいている。更には、先ほどご講演をいただいた明治大学の小田切教授、そして鳥取県職員の皆様にもアドバイザーとしてご参画いただき、深く感謝申し上げます。

本日から本町の中心地域整備に向けた計画を本格化させていきたい。今回の計画策定にあたっては、本年１２月を目途としたいと考え、この間４回の検討委員会を予定させていただく。計画の策定に当たっては、町民を巻き込み、町民の声を拾い上げ汲み取っていききたい。２０年後、本町の人口は半減すると予測されている。小田切教授の講演にもあったとおり、この広大な地域を少人数で維持していくためには、今までとは違った別の仕組みを考えていかなければならない。日南町が持続可能なまちづくりを進め、町民が夢を描ける計画を策定したい。委員各位のご協力と活発な議論をお願い申し上げます。

次第3 委嘱状交付

○中村町長

中村町長からの委嘱状の交付は、時間の都合上この場では代表者1人のみ。委員を代表して、鳥取大学日置佳之特任教授に委嘱状を交付。(任期は、令和6年4月20日から令和7年3月31日まで)

次第4 委員紹介(自己紹介)

○事務局

初顔合わせでもあり、委員それぞれ一言ずつ自己紹介。

次第5 委員長・副委員長選出

○事務局

設置要綱第4条に基づき、委員長・副委員長の選出は委員からの互選。委員長・副委員長への立候補者の挙手。立候補者なし。

事務局案の提示。委員長には鳥取大学日置佳之特任教授、副委員長には中村町長。拍手多数、承認。委員長の職責は非常に大きく難しい仕事だと感じているが、皆様のご協力をいただきながら、良い結論を導けるように頑張りたい。(委員長)

次第6 議事

○委員長

最初に、会議の公開等会議録等について事務局から説明を。

○事務局

資料1「会議の公開と会議録等について(案)」に基づき、説明。

○委員長

全体として、非常に公開度が高い開かれた形での会議ということになるが、皆さんからご質問

やご意見があれば伺う。

○委 員

特になし。拍手多数、承認。

○委員長

次に、本日の会議録確認委員を選任する。これは委員長権限で指名できることになっており、会議録確認委員には、商工会青年部の東委員にお願いしたが、東委員よろしいか。

○東委員

了承。

○委員長

次に、資料2「日南町中心地域整備検討委員会の趣旨と進め方について」事務局から説明を。

○事務局

資料2「日南町中心地域整備検討委員会の趣旨と進め方について」に基づき、説明。

○委員長

事務局からの説明について、委員の皆さんからご質問ご意見があれば伺う。

○委 員

検討委員会の開催が今日入れて4回だが、7月10月12月の検討委員会の開催について、時間や曜日は考えているか。

○事務局

本日の会議終了後、特に7月については早速にでも調整させていただきたいと考える。全体で22人の大勢の会議となるため、出来るだけ委員のご都合の良い時間帯を考えながら平日・土日・祝日、昼夜などいちばん集まりやすい時間帯に調整させていただきたい。

○委員長

その他あるか。無いようなので、この趣旨と進め方でご了解いただけるか。

○委 員

了承。

○委員長

次に、資料3「中心地域整備計画の策定に向けて」事務局から、説明を。

○事務局

資料3「中心地域整備計画の策定に向けて」に基づき、説明。

○委員長

本日の議論の中心的な内容になる部分の説明であったが、ご質問ご意見あれば伺う。

○委 員

日南病院の建設については、ずっと前から色んなところで話が出ているが、ハザードマップはちゃんと考慮されてるのか疑問に思っている。これだけ大雨土砂災害、地震等々もある中で、本当にこの位置でいいのかという疑問があるがどうか。

○事務局

資料3の10ページにある8つの候補先を示しているが、防災の観点からは大きく2点。ひとつ目には、日野川からの洪水・浸水に対してどう対応するのか。もうひとつは、いわゆるイエローゾーン、レッドゾーンという観点から土砂災害に対する対策をどうするか。それぞれにおいては、全ての候補地とも残念ながら現状では何も対策をしなくても良いということはないという状況である。

ただ、対策にかかる費用等については、本日別冊で配布した「日南病院基礎調査報告書」の2ページに候補地の8つを示している。3ページ以降に、それぞれの候補地の概要をまとめている。そして、更なる計画を加えた内容については、21ページ以降に記載している。いずれにせよ、洪水・浸水、土砂災害対策は必要ということで認識いただきたい。

○委員長

ほかに質問あるか。

○委 員

日南病院の候補地8つの面積は色々あるが、実際、病院の予定面積はどれくらいなのか。それ

が分からなければ、どこに建てるにしても広い・狭いが分からないのではないか。

○事務局

資料「日南病院基礎調査報告書」の１９ページ、病院本体の想定される面積が６０床と７５床の二通りを考えているが、それぞれ２，５００平米、２，７００平米の建築面積を考えている。

また、資料１７ページに病院の建築面積プラス周辺に必要となる駐車スペースは約１８０台程度の規模になるが、これを含めた総面積が整形地で約１２，０００平米ぐらいが必要だろうと考えているが、各候補地については満たしていない所もある。

○委員長

資料は、結構詳しく検討していると読み取れるが、建築面積は６０床或いは７５床ということで、どの位置であってもこれは変わらないという理解でよいか。

○事務局

良い。建築面積の２，７００平米が入るということでの選定である。

○委員長

それぞれの敷地の形状があるので、真四角だと１２，０００平米だが、少しずつ異なってくるが、報告書に詳しく書いてあるので見れば分かる。その他、質問あるか。

○委員

病院の建築面積が論じられているが、そもそもどんな病院にするのか、どんな機能を持たせるのかというのも議論が必要だと思う。よって、建築面積の議論が先に立つと前提に立つと議論しにくくなってしまうので、機能も含めて議論していくことが大事だと思う。

○委員長

他には、いかがか。

○委員

前増原町長が打ち出したコンパクトヴィレッジ構想は、「道の駅を核として半径１km以内に機能を集約させる」としているが、道の駅を拠点とした当時の根拠があれば教えて欲しい。

○事務局

当時、「道の駅に人を集めていく仕組みをつくりたい」という思いがあったと認識。これまで産業や商業などバラバラだった媒体を道の駅周辺に集め、人を集める。そして、道の駅には野菜や日南町の魅力ある商品を集め、町外の皆さんが道の駅を目的地として来ていただくというコンセプトで「誘導する過疎」をテーマに道の駅を核とした。

○委員

町民だけではなく、町外の方も含めた人の集まりという意味であったという理解でよいのか。

○事務局

その理解でよい。

○委員長

コンパクトヴィレッジ構想では、道の駅を「中心」としているが、「中心」の意味は、ここに色んなものを集約するという意味なのか、それともここをコンパスの起点にした半径1km圏内をコンパクトヴィレッジとするという意味なのか。

○事務局

後者の方。道の駅をコンパスの起点として半径1km圏内に収まる範囲を中心地域とし、そこに行政機能や教育機能、医療機能、交通機能等をゾーニングしたということ。

○委員長

そうすると現在、道の駅も既に出来ている訳だが、そこに更に色んなものを全部集約していかなければいけないということではない、という理解で共通認識をお願いしたい。

初回なので、委員にそれぞれの思いを語っていただきたい。この中心地域の整備に関連して大切だと思うことや、是非やって欲しいことなどでも結構である。

○委員

町の賑わい活性化という観点から、活気ある町の条件は、様々な機能が同時に複数のものが存在することだと思う。だから機能を分けていくのではなく、様々な機能が同一的に存在する方が望ましいと感じている。

○委 員

日南病院候補地の位置図を見た限りでは、現在の病院の位置と候補地7の生山地区（生山駅周辺）というのは無いのかなと思う。

○委 員

日南病院の候補地に圃場整備田が3か所くらいあるのではないかと。霞地区は自分で農作業されている方はごく少なく小作に出しているが、これからの農業のあり方についても自治会内で検討するような会合を設けている。これらも含めて地元の意見を集約したい。

○委 員

日南病院を無くすという訳にはいかない。病院がない町は魅力がなくなってしまう。病院は絶対必要だということを考えてもらいたい。この検討委員会は、病院だけの検討か。それとも、その他付随するものも考えていく、ということなのか。

○委員長

後者の方。中心地域整備計画なので、勿論、病院をどこに立地させるかはすごく大事だが、そのことだけを考えるものではなく、それに関連してこの地域をどういうふうに作っていくかという全体の話である。

○委 員

いろんな現実を突きつけられている。その現実を受け入れていかなければならないが、今考えないといけないのは、この先ライフラインがこのまま維持されるのかということ。それらを考えながら今後のコンパクトヴィレッジを議論していかないと駄目だと感じている。どうせならすごく奇抜なアイデアの日南病院となれば楽しいかなと考えている。

○委 員

残念ながら道の駅については、町民の利用が少ない。また、子どもたちの居場所というのが無いと感じる。前回の中心地域整備計画の際に、公園をつくる予定だったはずだが、現在出来ていない。子どもたちもとても切望しており、公園整備を実現できたらいいなと思う。

○委 員

今回のコンパクトレジ構想については、個人的には肯定的である。小田切教授の講演にもあったように、暮らしの物差しづくり、人材・カネとその循環づくりについて、当事者意識を持って

検討会に積極的に関わりたい。

○委 員

コンパクトヴィレッジを更に進化させていく中で、皆さんが使いやすい便利な機能を持たせたものを、一生懸命知恵を絞って考えていく必要性を感じている。

○委 員

それぞれの候補地に病院ができたとして、病院以外の必要な整備を今の時点で写真やグラフィックなどにでも落としてみればイメージも定まっていくような気がする。個人的には生山駅の場所も JR の利用も含めて面白いのではと感じる。どの候補地にも可能性がある中で、予算など何かネックになるのかまだ分からない状況で、引き続き色々な角度から検討が必要と感じる。

○委 員

道の駅の地内にある製材所の跡地の有効利用も併せて考えていかなければならないのではないかと思う。

○委 員

まだ勉強不足なので、これからしっかりと勉強していきたい。

○委 員

詳しい資料を今日初めて見たので意見は言えないが、「賑やかな過疎」というワードはワクワクする。日南町について考えて盛り上げられるような意見を出していきたい。

○委 員

道の駅を起点とした中心地域整備構想には賛成する。新しい日南病院の建設地が道の駅の周りだと皆助かるのではないか。子どもの病院受診帰りに必ず買い物をして帰る。ローソンにも連れて行くことができる。また、高齢者についても免許返納した方などは現状の病院と買い物施設との距離はバスの便数などからも不便さを感じていると聞く。経済循環の観点からも機能集中したほうが良い。

○委 員

道の駅で地元の方の利用が非常に少ない印象がある。地元の方がもっと利用できるように機能が集中した中心地域であるべきだと感じる。

○委員

道の駅はイベント等では利活用されているが、日常使いとしてやはり町民の姿を見る機会が少ない。コンパクトヴィレッジというのは誰目線、誰向けにつくるのかの議論も必要ではないか。町外から外資を稼ぐのは経済としては非常に大事だが、まちづくりとして住民を中心に考えると、今はまだ道の駅が機能していないという印象がある。ますます高齢化が進むのは必然的なことなので、交通の便など人の動線を意識したまちづくりをしていくべき。やはり機能集約は大事で、今ある機能をどう生かしていくかも踏まえてしっかりと議論すべき。

○委員

コンパクトヴィレッジをつくっていくには、期間的にすごく長い時間がかかると思うが、その中でどうやって町民に伝えていくかや、町民に理解してもらうかというところがすごく重要だと思う。また、若年世代の定住人口を増やし、雇用の場の創出が求められているというところで、日南町以外の方にもどうやって情報を届けていくかはすごく重要だと思う。よって、町民参加の立場から言うと、視覚的に分かりやすい見せ方や手段などを考えながら、あらゆる人たちを巻き込んでいくという方法も必要だと思う。

○委員長

委員からのご意見・思いの中には重要な論点になりそうな部分がたくさんあったと感じる。では、論点整理に入る。今日の論点1の「中心地域の定義」については、道の駅はあくまでもコンパスの起点であり、そこに何もかも集約するということではなく、半径1km圏内に様々な機能を集約してコンパクトヴィレッジにしていくということで共通理解としたい。

論点2の「コンパクトヴィレッジのコンセプト」については、従来は道の駅を核としたまちづくりというふうに考えていたが、委員の皆さんの思いからすると、必ずしもそこに何もかも集約するというのは現実的でなく、今ある機能を活かしてさらに拡充していくという考え方もあるだろうというお話だったと思う。

論点3の「新日南病院の候補地選定」の議論を進めるにあたり、私なりに中心地域における現有の機能を整理した内容を話す。道の駅ゾーンについては、観光の拠点になっている。また、商業の拠点の一部でもあるが、町外向けになっている。それから消防署があることもあり、例えば普通の公園機能も持ち合わせた防災公園の整備など防災の拠点というのが将来的にはあり得ると考える。さらに病院をここに移転したら医療福祉の拠点にもなる。

次に、私達が今いるこの場所が霞だが、間違いなく行政の拠点そして文化の拠点である。また、町民向けの商業の拠点であり、パセオでは多くの方が買い物をされている。更に合銀や農協、郵便局があり金融の拠点であるといえる。もしもここに病院が移転してくれば、ここも医療福祉の拠点にもなり得る。現有の施設は動かしにくいし、現在あるものを活かすという方が時間や予算的には節約になるため、それは重視した方が良いのかもしれない。そして、今申し上げた2つの間に、教育の拠点があるということになる。

生山駅の場所については、鉄道とかバスの交通結節点になっていて、交通の拠点というのは間違いなくあると思う。また、商業施設が幾つかあるので商業の拠点のひとつもなっている。

このような中、医療福祉の拠点をどこに持っていくのかということによって、まちのあり方や利便性、防災機能などが決まってくるというふうに考えられる。そういう事を踏まえながら議論を進めていかなければならないと思う。

委員の皆さんから何かご意見あるか。

○委 員

防災公園など、防災の視点は考える必要があると思うし、病院の候補地の選定にも判断材料となると思う。

○委員長

では、論点3の病院の候補地選定について、8ヶ所の候補地があるがどう絞り込んでいくかだが、本日の別冊資料、病院基礎調査報告書を見ながらまちの全体像を描き、皆さんのご意見を踏まえながら、最終的に1ヶ所に選定するために、2段階方式で絞り込んでいくのが良いのではないかと思う。候補の絞り込みにあたり、実行委員会の中に専門部会を設けて集中的に検討してもらい次回の委員会に報告してもらう形はどうか。事務局から資料4、委員会の設置要綱について説明を。

○事務局

資料4、「日南町中心地域整備検討委員会設置要綱」に基づき説明。

○委員長

設置要綱第3条第3項の規定に、委員会には専門事項を調査または検討するため、部会を設けることができる。本日、専門部会を設け、その部会長を選任し、部会のメンバーについては後日、部会長と事務局が相談して決定したいと考えるが、部会員は何人くらいか。

○事務局

10人程度でお願いしたい。基本的には委員の中から選任ということになるが、場合によっては、より専門的な事項に関して外部に委任することができるとも謳っており、委員以外のアドバイザーなどの形もあるかもしれない。ご協力をいただきながら進めていきたい。

○委員長

了解。絞り込みに関しては、現在の8か所をいくつに絞り込むのか、そういうことも部会に一任するという事でよいのか。

○事務局

先ほどの議論の中で、絞り込みは2段階で進めていくという話が出たが、7月の時点で4つぐらいまで絞り込みたいと考えている。

○委員長

委員各位、ご了解いただけるか。

○委員

了解。

○委員長

病院候補地の選定について、委員からその他ご意見あれば伺う。

○委員

候補地には町有地も私有地もあるが、私有地の場合は全て買収するという理解でよいのか。

○事務局

私有地の場合は当然、町なり病院で買収することになる。

○委員長

それでは、先ほどの議論の中でも委員の皆さんからも病院の立地についても様々な意見や要望があったが、それらを踏まえて部会で検討していただきたい。では、新病院建設候補地の選定にかかる部会の部会長を決めたい。部会長について、立候補する方はいないか。立候補される方は挙手をお願いしたい。

○委 員

はい。(片野委員、挙手) 他者無し。

○委員長

片野委員から立候補があったがそのほかは無しである。委員の皆さん、承認いただけるか。

○委 員

承認。

○委員長

片野教授を新日南病院建設候補地選定部会の部会長とする。

以上で、本日の議事は終了する。

○事務局

第2回の検討委員会は7月ごろを予定する。日程については、委員各位のご都合伺いながら調整し、改めてご案内する。また、新日南病院建設候補地選定委員会のメンバーについては片野部会長と協議し、追って通知させていただく。

以上で、第1回日南町中心地域整備検討委員会を終了する。

令和 6 年 5 月 2 日

会議録確認委員

氏

名

東 洋 祐



日南町中心地域整備検討委員会 名簿

別紙

	分野	所属・役職		氏名	第1回 (4/20)
1	有識者	鳥取大学	特任教授	日置 佳之	○
2	〃	明治大学	准教授	片野 洋平	○
3	〃	シティラボ東京 合同会社マチトワ	コミュニケーター共同代表	西 昭太郎	○(web)
4	地元自治会	生山自治会	会長	伊藤 政美	○
5	〃	霞自治会	会長	長尾 春彦	○
6	地域団体代表	日南町自治協議会	会長	榎尾 稔正	○
7	町民代表			糸田 川啓	○
8	〃			山脇 亜紀	○
9	〃			中村 建治	○
10	商工	日南町商工会	会長	福田 一哉	○
11	〃	日南町商工会青年部	部長	東 洋祐	○
12	福祉	日南福祉会	事業統括部長	入澤 良子	欠席
13	〃	日南町老人クラブ連合会	会長	大塚 武史	○
14	交通	(株)共立ソリューションズ	地区担当マネージャー	八木橋 隆雄	欠席
15	〃	日南交通(有)		西谷 直文	○
16	教育・子育て	日南小中学校PTA	会長	前田 美沙	○
17		こども園保護者会	会長	古垣内 大輔	欠席
18	〃			井上 慈子	○
19	〃			中田 望	欠席
20	金融	(株)山陰合同銀行根雨支店生山出張所	所長	三浦 秀賢	○
21	〃	(株)鳥取銀行生山支店	支店長	上原 佑介	○
22	行政	日南町	町長	中村 英明	○

<オブザーバー>

区分	所属・役職		氏名	
鳥取県	輝く鳥取創造本部とっとり暮らし推進局人口減少社会対策課	課長補佐	大谷 武彦	欠席
〃	西部総合事務所日野振興センター日野振興局地域振興課中山間地域連携担当	中山間地域振興リーダー	鈴木 陽子	○

<事務局>

区 分	所 属 ・ 役 職		氏 名	第1回 (4/20)
日南町		副町長	角 井 学	○
		教育長	青 戸 晶 彦	○
"	総務課	課長	実 延 太 郎	○
"	まち未来創造課	課長	島 山 圭 介	○
"	"	参事	川 上 将 典	○
"	地域づくり推進課	課長	浅 田 雅 史	○
"	"	C I O 補佐	藤 見 昌 延	○
"	"	室長	榎 尾 公 宏	○
"	建設課	課長	渡 邊 輝 紀	○
"	農林課	課長	坂 本 文 彦	○
"	福祉保健課	課長	出 口 真 理	○
"	教育委員会	次長	三 上 浩 樹	○
日南病院		事業管理者	福 家 寿 樹	○
"		参事	木 下 順 久	○